

各地域の将来像と暮らしのイメージの充実について①

地域	地域の将来像と暮らしのイメージ	地域にとって重要な施設の例
<p>広域拠点エリア</p> <p><京都の都市活力を牽引> 国内外から訪れる多くの人々の活動を支える京都らしい都心空間の創出</p>	<p>1 広域的な商業施設, 多くの企業が活動するオフィスビルや, ホールなどが集積し, 機能的な都市環境の整備が進み, 国内外から人々が集い, 働き, 交流が行われている。</p> <p>2 都心居住による地域の文化・コミュニティや職と住が共存する町並みが維持され, 京都の歴史や文化が脈々と受け継がれている。</p> <p>3 鉄道や道路などの都市基盤整備の状況に応じて, 商業・業務がさらに活況を呈し, ゆとりあるオフィス空間が集積し, 多様な人材が集い, 新たな活力が生まれている。</p> <p>4 観光やビジネス等で京都を訪れる人々が, 地域コミュニティや市民の暮らしと調和した宿泊施設に安心安全に滞在し, 京都の魅力を発信するだけでなく, 人々の交流や産業・商業が活発になっている。</p> <p>5 京都の玄関口である京都駅の周辺では, 文化・芸術を基軸とした新たなまちづくりが更に進み, 若者や多様な人材が集い, 暮らし, 学び, 働き, 交流することにより, 新たな価値を創造する場所として, 人々を惹きつけている。</p> <p>※「立地適正化計画」制度の手法を活用し, オフィス(事務所・研究所)の誘導を図ります。</p>	<p>・百貨店 ・オフィス ・MICE施設等</p> 
<p>地域中核拠点エリア</p> <p><定住人口の求心力> 子育て期をはじめ, それぞれのライフステージに応じた必要な都市機能の効率的な利用</p>	<p>1 各地域における主要な公共交通の拠点として, 一定規模の商業施設や各種サービス施設, 地域の拠点となる病院など, 多様な都市機能を徒歩圏で効率的に利用できる。</p> <p>2 子どもから高齢者まで, それぞれのライフステージやライフスタイルに応じて, 必要な機能を選んで快適に利用でき, 地域の魅力と暮らしの楽しさを実感している。</p> <p>3 時代の変化に応じて, ニーズに合わなくなった建物の更新や改修が図られるなど, まちの魅力や活力が維持・向上している。</p> <p>※「各地域にふさわしい都市機能誘導エリア」として必要な都市機能を重点的に誘導します。</p>	<p>・地域ニーズに応える商業施設 ・地域の拠点病院等</p> 
<p>①交通結節・賑わい型</p>	<p>市内各地域や近隣都市など公共交通で繋がり各方面からアクセスしやすい拠点や, 地域における賑わいの中心となる拠点の周辺では, 広範囲から集う人々が利用できる商業・業務施設など, 多様な都市機能が充実し, 豊かな社会経済活動や便利な生活を, 広域拠点まで行かなくても送ることができている。</p> <p>(主な拠点エリア: 山科, 西大路, 太秦天神川, 桂, 竹田 等)</p>	
<p>②文化・大学・観光型</p>	<p>京都を代表する文化施設や大学, 観光資源などに近接する拠点の周辺では, 学生が参画したまちづくりや, 観光客との交流などにより, 京都の魅力を活かした特色あるまちづくりが進み, まちの潤いや活気が高まり, 京都に暮らす誇りや伝統が受け継がれている。</p> <p>(主な拠点エリア: 今出川, 出町柳, 東山 等)</p>	
<p>③生活拠点型</p>	<p>日常の生活に密着した拠点では, 住環境と調和した多様な生活利便施設が充実し, 各地域での暮らしを支えている。</p> <p>(主な拠点エリア: 北野白梅町, 洛西口, 淀 等)</p>	
<p>日常生活エリア</p> <p><定住人口の生活の場> 多世代が安心・快適に居住し地域のコミュニティ・文化を継承</p>	<p>1 日常生活を支える商業施設, 病院, 保育所, 高齢者福祉施設などが身近に存在するとともに, 公共交通でスムーズに移動でき, 安心安全・快適に暮らしている。</p> <p>2 空き家の流通促進など, 既存ストックの活用が進み, 京都ならではの暮らしや生活文化が継承されるとともに, 郊外では, 豊かな自然や農業と調和した, ゆとりある居住環境を維持している。</p> <p>3 子育て・教育環境の一層の充実が図られるとともに, 鉄道駅の周辺などで, 若年・子育て層のニーズに合った住宅が供給されるなど, 暮らししてみたい生活空間が確保されている。</p> <p>4 ものづくり産業エリアに隣接し, 工業系の用途と住宅や農地が混在する地域では, 周辺環境に調和した産業機能が充実し, 暮らしと働く場が近接したまちづくりが進んでいる。</p> <p>5 自然災害が発生する可能性が高いと予測される地域では, 災害に対する理解と備えが行き渡るとともに, 地域の防災力を支えるコミュニティが維持されている。</p> <p>ニュータウン・住宅団地等</p> <p>洛西ニュータウンや向島ニュータウンなど大規模な住宅団地では, あらゆる世代が安心・快適に暮らし続けられるよう, 既存施設が適切に維持管理されるとともに, 新たな魅力の発信や創出など, 若年・子育て層の呼び込み繋がる取組が進んでいる。</p>	<p>・日常生活を支える商業施設 ・病院・診療所 ・保育所 ・高齢者福祉施設等</p> 

地域	地域の将来像と暮らしのイメージ	地域にとって重要な施設の例
<p>ものづくり産業集積エリア</p> <p><ものづくり産業の集積> 操業環境の確保, 住宅との調和 産業用地, 空間の確保により, 京都にふさわしい産業を集積</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 伝統や先端の知恵と技術, 大学等の学術文化資源などが蓄積し, 充実した都市基盤, 人口, 消費地を擁するなど, 京都の強みを活かして, 中小企業やベンチャー企業, グローバル企業が集積し, 国際競争力や付加価値の高いものづくりを支える都市環境が整っている。 2 市街化が進んでいる工業地域では, 工場の操業環境が, 住宅と調和しながら確保され, 都市の成り立ちや利便性を活かし, 多様なものづくり産業が活発に活動している。 3 更なる工場の集積が期待できる工業地域では, 工場と住宅との調和を図りながら一定まとまった産業用地やゆとりある産業空間が確保され, ものづくり産業の事業拡大や新規立地が進んでいる。 <p>らくなん進都 らくなん進都では, 新しい京都を発信するものづくり拠点として, 魅力的な都市環境が生み出され, 国内外の最先端のものづくり産業をはじめとする企業の進出意欲が高まり, 本社オフィスや生産, 研究開発, 物流施設等が集積している。 ※「立地適正化計画」制度の手法を活用し, オフィス(事務所・研究所)の誘導を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり関連工場, ・研究所, オフィス ・物流施設等 
<p>緑豊かなエリア</p> <p><地域の生活・文化等の継承> 農林業や観光等の産業の振興等により, 地域の生活・文化等を維持・継承</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 京都ならではの山紫水明の景観を形成する三方の山々が保全され, 地域の自然や農林業, 歴史資源などを活かした文化的・経済的な交流が活発になっている。 2 多様な地域特有の暮らしが継承されるとともに, ゆとりある生活を求める人々の移住・定住が促進され, 地域の生活や文化, コミュニティの維持が図られている。 3 農林業の振興や地域の特性を活かした産業, 観光関連施設, スポーツやレクリエーションの活動施設の充実等により, 都市部から多くの人々が訪れるなど, 地域が活性化し, 市域全体の潤いと豊かさに繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業・生活を支える施設・観光等の交流施設等 



<p>学術文化・交流・創造ゾーン</p> <p><地域の生活・文化等の継承> 歴史, 文化, 大学, 観光, 伝統・先端産業といった京都ならではの資源と多様な人々が出会い, 集い, 交流し, 新たな魅力や価値を継承・創造</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 伝統産業や生活文化が受け継がれる地域において, 伝統産業と最先端の技術やアートが結びつくなど, 暮らしと調和したクリエイティブな活動が行われている。 2 大学の周辺において, 学生や研究者などが多く集い, 活発な交流が行われ, 新たな技術やビジネスなどが生み出されている。 3 住む人, 訪れる人の双方が, 身近に文化体験や芸術活動を楽しみ, ほんものの歴史や文化, 伝統に触れ, 京都に対する愛着が増し, 京都ファンが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・京町家を保全したデザイン開発拠点, ・起業を目指す学生や若手研究者が集うオフィス・ラボ ・伝統文化を学べるミュージアム等 
--	--	---

※大規模な低未利用地等については, 都市の将来像や各地域の特性に応じた計画的な土地利用を図り, 適切な都市機能の誘導を行う。